

十市・稲生保育園統合高台移転 整備事業説明会

本日の説明会は、事業の進捗状況のご説明を
させていただくために開催するものです。

R7.8.28・29

南国市

スケジュール

令和6年度

造成設計

令和7年度

基本設計
(建物)

用地取得
(売買契約)

令和8年度

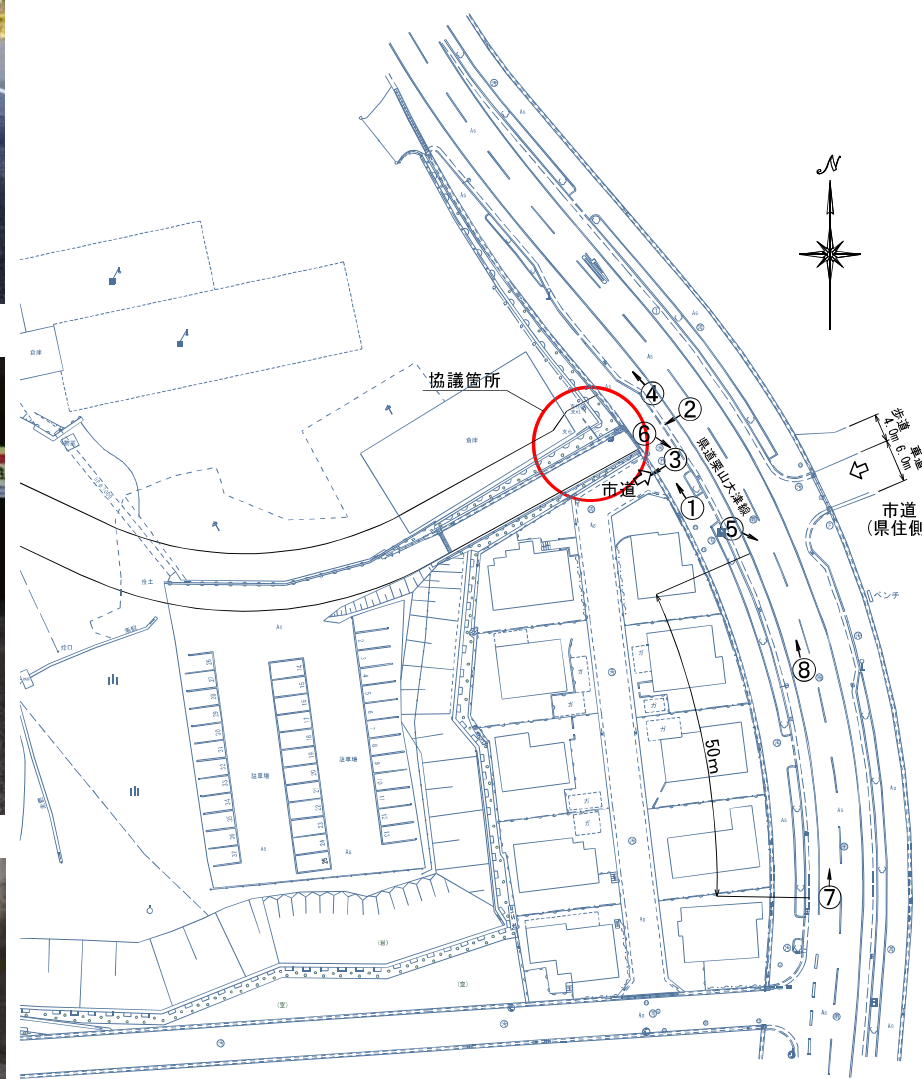
実施設計
(建物)

開発申請
↓
造成工事
↓
完了検査

※造成工事開始前と建築工事
完了後に周辺の建物や構造
物に損傷がないか調査を行
います。

令和9～10年度

建築確認
↓
建築工事
↓
完了検査



現況図 (協議箇所)

S=1:500
 ※縮尺は原寸 (A1) での値を示す。
 A3の場合はS=1:1,000となる。

⑥ 進入路からの県道の見通し
 県道の曲線区間で植樹帯があり、見通しが悪い



植樹帯撤去後のイメージ



⑦ 県道からの市道交差点付近の見通し
 曲線部で植樹帯があり、西側の歩道状況が把握しづらい



植樹帯撤去後のイメージ



⑧ 県道から進入路付近の見通し
 植樹帯により進入路の存在が把握しづらい



植樹帯撤去後のイメージ

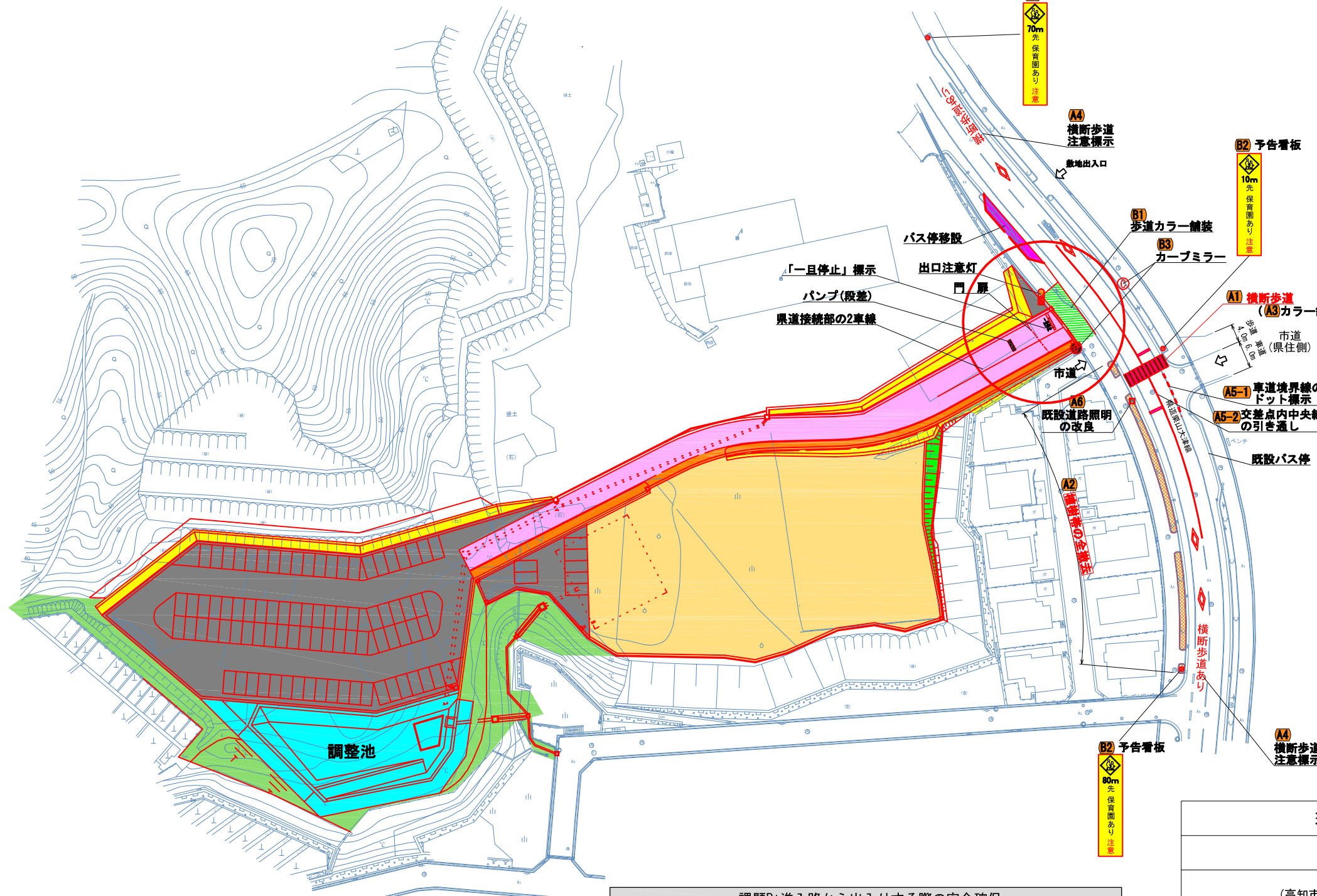
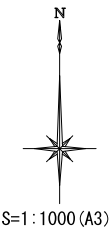


県住側の市道との交差点部への横断歩道設置は、
 保育園への通園児童の安全確保が目的であるが、
 県道を横断するバス利用者の安全確保にも寄与する。

県住側のバス停利用状況：朝方7:00~9:00までの乗車客は10人



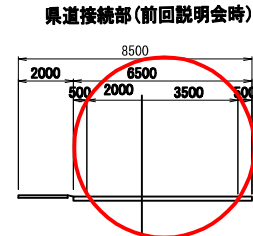
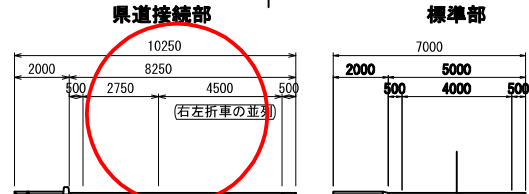
計画平面図（南国市十市）



一般県道 栗山大津線		
設計速度	—	
制限速度	40km/h	
平日24時間交通量	4,413台	R3道路交通センサス
朝方ピーク時交通量 (7時台)	429台	R3道路交通センサス
車線の幅員	3.0m	
路肩の幅員	1.8~2.0m	
道路規格	第3種3級に相当	

標準部					
19000					
4500	1800~2000	6000	1800~2000	4500	
3000	1500	3000	1500	3000	
歩道	植樹帯	車線	車線	植樹帯	歩道

バス停車部					
19000					
3000	3500	6000	1800~2000	4500	
歩道	バス停車帯	3000	3000	1500	3000
		車線	車線	植樹帯	歩道



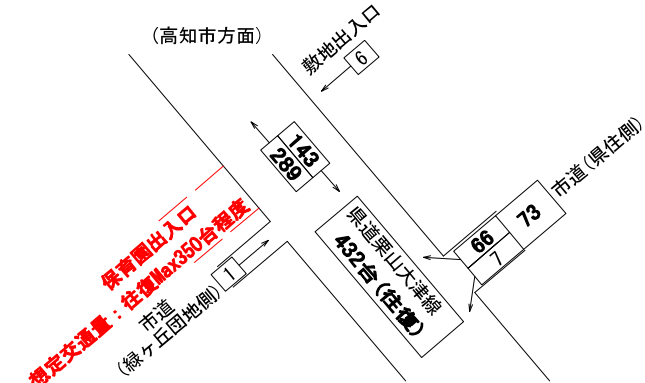
保育園高台移転に伴う進入路付近の安全対策（案）

課題A: 県住側から県道を東西に横断する児童の安全確保		
安全対策（案）		対策留意点等
県道敷での対策	A1 横断歩道の設置	この位置は見通しの悪いカーブの頂点であり、基本的には横断歩道の設置を避ける場所であるため、横断歩道の安全確保が出来ないと設置出来ない。 ⇒横断歩道設置にはA2～A6の安全対策が必要
	A2 植樹帯の全撤去	植樹帯の全撤去は、横断歩道設置の必須条件
	A3 横断歩道のカラー舗装	
	A4 「横断歩道あり」等の路面への注意標示	
	A5-1 車道境界線のドット標示	交差点部優先道路(県道)の明確化
	A5-2 交差点内の中央線引き通し	同上
県道敷での対策	A6 既設道路照明の改良	横断歩道を照らす照明に改良

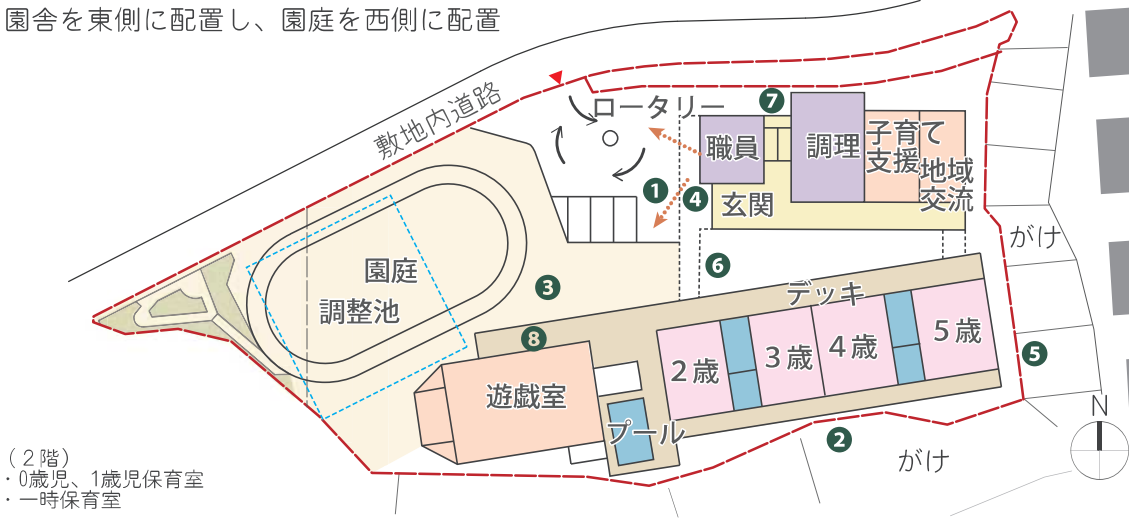
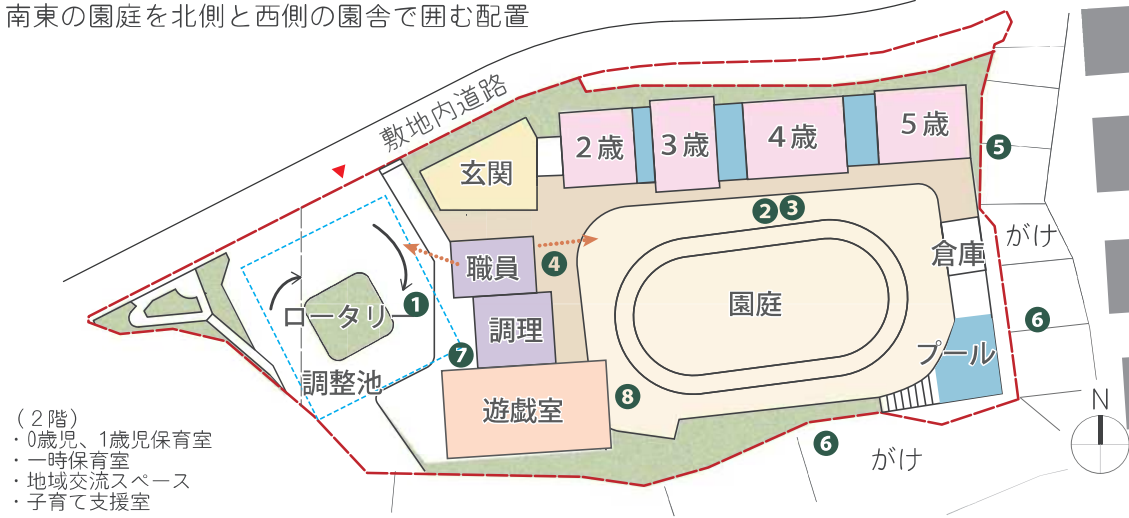
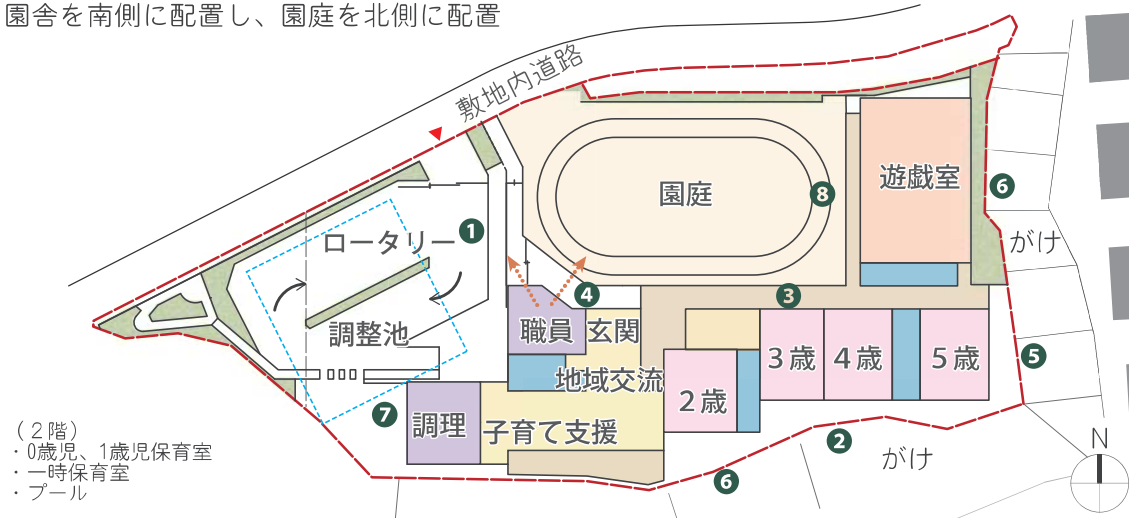
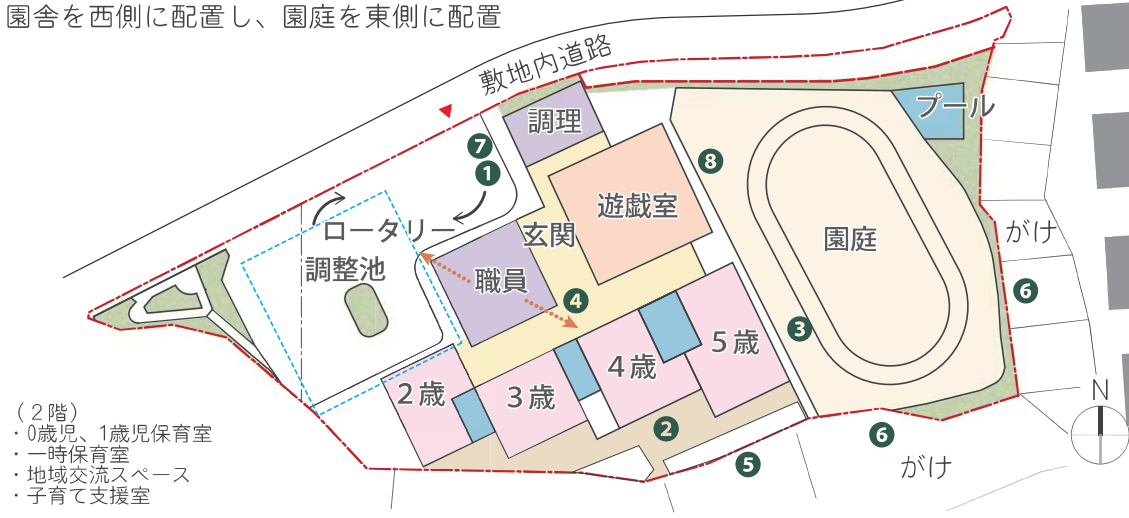
課題B: 進入路から出入りする際の安全確保		
安全対策（案）		対策留意点等
県道敷での対策	A2 植樹帯の全撤去	進入路からの見通し確保
	B1 県道接続部の歩道のカラー舗装	
	B2 「保育園あり」の予告看板	カーブに入る手前から予告
進入路敷での対策	B3 カーブミラー（2面鏡）	進入路で停止した車から県道を通行する車を視認できるようにする
	B3 カーブミラー	進入路で停止した車から県道の歩道を下ってくる自転車を視認できるようにする
	門扉	門扉設置により敷地内道路であること明らかに、平行する市道が優先であることを明確化する
	出入口注意灯	進入路を下ってくる車と自転車を感知し、県道の歩道を通行する自転車等に注意喚起
	県道接続部の2車線化	県道接続部付近における安全な車の行き違いと円滑な通行の確保
	縦断の緩勾配化	減速対策
	「一旦停止」等の標示	減速対策
	ハンプ（段差）	減速対策

現況交通量（自動車類）

朝方ピーク時
(R6年7月3日(水) 7:30~8:30)



保育園進入路の想定交通量は、Max往復350台程度が朝方に集中すると想定される。
(保育園入所者は、十市保育園：120名、稲生保育園：50名 の計170名、加えて保育士)

	A 案 - 園庭西側配置	B 案 - 園庭南東側配置
園舎と園庭の配置	園舎を東側に配置し、園庭を西側に配置 	南東の園庭を北側と西側の園舎で囲む配置 
凡例	○ ロータリーの面積が小さく、車待機列が少ない ◎ 南側採光で十分な日照も確保 △ 保育室と園庭が遠く、動線が長い ◎ ロータリー、園庭を見渡せる ○ 基礎をがけ下から安息角（30° のライン）以深まで到達し、計画できる ◎ 園庭が西側となり、園舎により東側隣地への音は軽減される △ 一般車両動線と兼用しており、敷地出入口に近い ◎ 遊戯室と園庭が隣接しており、一体利用が可能 △ 園庭と遊戯室の関係は良いが、保育室と園庭が遠く、ロータリーが小さい	○ ロータリーで乗入れが容易、建物に面して車の待機スペースも確保 ◎ 南側採光で十分な日照も確保 ◎ 保育室からデッキを介してすぐに出ている ◎ ロータリー、園庭を見渡せる ○ 基礎をがけ下から安息角（30° のライン）以深まで到達し、計画できる × 東・南側園庭により、東側・南側隣地への音・砂埃の影響が大きい △ 専用車両動線になっていない、送迎車と同じ動線となる ○ 遊戯室と園庭が隣接しており、一体利用が可能 △ 東、南側隣地への音・砂埃が影響が大きい、園庭までのトラックの動線がない
①車寄せとアプローチ ②保育室の採光、日照 ③保育室と園庭の関係 ④職員室からの見渡し ⑤がけ付近の構造安全性 ⑥隣地への音・砂埃の配慮 ⑦調理室への車両動線 ⑧遊戯室と園庭の関係 総合評価		
	C 案 - 園庭北側配置	D 案 - 園庭東側配置
園舎と園庭の配置	園舎を南側に配置し、園庭を北側に配置 	園舎を西側に配置し、園庭を東側に配置 
凡例	◎ 十分な大きさの庇付きロータリーにより敷地内での車待機列を確保 ◎ 南側採光で十分な日照も確保 ◎ 保育室からデッキを介してすぐに出ている、北側園庭は園舎で日除けとなる ◎ ロータリー、園庭を見渡せる ○ 基礎をがけ下から安息角（30° のライン）以深まで到達し、計画できる ◎ 園舎、遊戯室により南側隣地、東側隣地への音・砂埃をブロックできる ◎ 専用車両動線になっている ◎ 遊戯室と園庭が隣接しており、一体利用が可能 ◎ 東・南側への砂埃を園舎で防ぎ、車待機列も十分に確保、保育室と園庭の関係も良い	◎ ロータリーと庇で乗入れが容易 ◎ 南側採光で十分な日照も確保 △ 保育室と園庭が遠く、動線が長い △ 職員室から園庭を見通せない ○ 基礎をがけ下から安息角（30° のライン）以深まで到達し、計画できる × 東側の園庭から東側隣地へ音、砂埃の影響が大きい △ 敷地出入口に近い ○ 遊戯室と園庭が隣接しており、一体利用が可能 × 職員室から園庭を見渡せず、また園庭から東側隣地への音、砂埃の影響が大きい
①車寄せとアプローチ ②保育室の採光、日照 ③保育室と園庭の関係 ④職員室からの見渡し ⑤がけ付近の構造安全性 ⑥隣地への音・砂埃の配慮 ⑦調理室への車両動線 ⑧遊戯室と園庭の関係 総合評価		







ご清聴ありがとうございました

問合せ先

〒783-8501

南国市大埴甲2301番地

南国市子育て支援課 幼保支援係

TEL088-880-6562

令和7年8月28日・29日